

2003年イラク戦争開始から毎年開催!! 今年で9回目の開催となる

世界の平和を願う 市民のつどい in 岩手



前宜野湾市市長
伊波 洋一氏

■プロフィール

沖縄県議を経て、03年4月～10年10月まで7年半、普天間基地をかかえる宜野湾市で市長を勤めた。県議時代は、県立病院問題や平和記念資料館問題などで手腕を発揮。宜野湾市長としては普天間基地問題解決のため、3度の訪米要請行動、国会の安全保障委員会や外務委員会に招かれ訴えた。先の知事選では、県外移設を県民世論にまでしたキーマン。また、沖縄の市町村で初めて中学までの入院費無料化を実現した。

2.26 土

参加
無料

10:30～12:00

岩手教育会館大ホール

保育あります・無料(事前申し込み必要)

「沖縄からの証言

本当の平和を実現するために」

～基地NO! と言えない日本の未来を考える～

日本に米軍基地があること、その約74%が沖縄に集中していることに、私たちは慣れてしまっていないでしょうか?本当に基地があることで平和は守られてきたのか?財政赤字でも、年間5兆円近い防衛費は仕分けの対象にもならないなんておかしくないですか?マスコミが語らない真実を、沖縄の宜野湾(ぎのわん)市の前市長伊波洋一氏に証言してもらいます。このまま沖縄に基地が存続し続けることで、日本の平和や私たちの暮らしは、いったいどんな姿になってしまうのでしょうか?

ロビーでは、各参加団体による
バザーなどのお楽しみ企画予定しています。

主催 「2・26世界の平和を願う市民のつどいin岩手」実行委員会

事務局 平和憲法を守る県民懇談会

問い合わせ先 TEL019-684-2225 / FAX019-684-2227 (県消団連・県生協連)



武力で平和はつukれない 危険な道にすすまないよう、平和を願う声を上げよう！

■沖縄の苦しみや基地負担を軽減せずに、アメリカへの協力を強める日本

「普天間基地の県内移設は反対。なぜさらに沖縄なのか」こうしたもったもなしの沖縄の怒りをよそに、日本政府は「日米同盟を深化・発展させる」と言って、ますますアメリカへの軍事協力を強めようとしています。世界では米軍再編の中で、基地の縮小がすすむ計画ですが、日本は今、まったく逆の道をすすもうとしています。


■日米同盟の危険な中身

50年にわたる日米安保条約と、戦後65年もの長い間米軍基地の駐留の見直しをすることもなく、日本政府は新たに「防衛計画大綱」と「中期防衛力整備計画」を決め、「おもいやり予算の5年継続」「グアム移転費用の負担」「専守防衛から動的防衛力の転換」などと、次々と米軍との一体化を図ろうとしています。武器輸出3原則さえ見直す可能性もあります。アメリカの軍事戦略へこれ以上追従し続けることは、危険な道ではないでしょうか。

2.26 世界の平和を願う 市民のつどいin岩手

2月26日(土) 10:30~12:00
岩手教育会館 大ホール 《参加無料》

○開会・主催者あいさつ



○「**沖縄からの証言**
本当の平和を実現するために」
～基地NO!と言えない
日本の未来を考える～
前宜野湾市市長 伊波洋一さん

○つどいアピール

■平和を願う声と行動を広げよう！

私たちは2003年イラク戦争開始時からこの戦争に反対し、日本政府がイラク戦争を支援することにも抗議し、毎年多くの市民の参加で集会やアピールを続けてきました。実行委員会等による集会は、今年で9回目の開催になります。加えて、戦争につながる基地はいらない！武力で平和は作れない！と声を上げてきました。そのことをもっとも痛切に思い、沖縄の地で主張し続けてきた伊波氏の証言を聞き、私たちが平和のために行動していきましょう。

**つどい終了後、大通り～菜園通りを
ピースパレードします。ぜひご参加下さい。**

主催 「2・26世界の平和を願う市民のつどいin岩手」実行委員会 **事務局** 平和憲法を守る県民懇談会
問い合わせ先 TEL 019-684-2225 / FAX 019-684-2227 (県消団連・県生協連)

■事務局構成団体(11団体)
 岩手県医療労働組合連合会 岩手県教職員組合 岩手県高等学校教職員組合 岩手県消費者団体連絡協議会
 岩手県自治体労働組合総連合 岩手県生活協同組合連合会 岩手県農業協同組合労働組合 憲法改悪阻止岩手県各界連絡会議
 新日本婦人の会岩手県本部 全日本自治団体労働組合岩手県本部 平和環境岩手県センター (50音順)